

大	人	の	
	た	め	の
啓	発	録	

～元気なふくいをめざして～



(この本は、青少年のすこやかな成長のために大人として心がけたいこと、取り組みたいことを提案するものです。)



望ましい 青少年像

誰もが、次代をになう青少年のすこやかな成長を願っています。
 青少年とかわかる **大人として、親として、社会人として、**
 それぞれが考え、行動をすることで、
 自立(律)できる青少年・愛ある人生を育む青少年・広い視野をもった青少年
 が育つことを期待します。

自立(律)できる 青少年

- 夢を抱き、目標を掲げ、将来に向かって努力する人
- 主体性と忍耐力をもって自立できる人
- 自ら学び、向上心を持ち、適正な判断と力強い実行力のある人



《橋本左内の啓発録から…》
 稚心を去る・志を立てる

愛ある人生を育む 青少年

- 家庭や友人を大切にし、思いやりを持って他人と仲良くする人
- 生あるものへの愛を育み、誠実な言動のできる人
- 芸術に親しみ、心豊かで品格を大切にする人



《橋本左内の啓発録から…》
 気を振う・交友を選ぶ

広い視野をもった 青少年

- ルールやマナーを守り、責任感・正義感の強い人
- 世界に目をむけ、社会に心を広げ、ボランティア活動に積極的な人
- 自然を守り、協調心やバランス感覚のある信頼される人



《橋本左内の啓発録から…》
 学に勉める

「個人」

～よい大人として～

多様化する社会で自由に生きることも可能な現代。
しかし、自由に翻弄され、自分自身を見失うということはありませんか。
そんな大人の姿は、青少年にどのように映っているのでしょうか。
まず自己をしっかりみつめてみましょう。



価値ある人生 ～明日のために～

◆ 夢をもち、人生の目標をたて、実現に向かってがんばろう

東大阪で進行中の大人たちの夢を知っていますか。町工場の経営者達が、様々な技術を結集させて、人工衛星「まいど1号」を打ち上げる計画です。

思わず「がんばって！」と声援を送りたくくなります。



夢に心躍らせ、実現に努力する大人の姿は、子ども達に明るい未来を予感させます。

ポイント

- ◆ 夢をもち、人生の目標をたて、実現に向かってがんばろう
- ◆ 品格を磨き、誠実に努めよう
- ◆ 広い視野で日本・世界の将来を考え、平和を求める心をもとう
- ◆ 一人ひとりの幸せの形は様々、尊厳をもって生きよう

正義感 ～非行や犯罪に目をつぶらない～

◆ 無関心をやめ、毅然とした態度で臨もう

—以前、A県で少年が同級生から多額の金を恐喝した事件があったのを覚えていますか？

……少年(加害者)の金遣いを“おかしい”と感じていながら何も行動を起こさなかった大人、少年(被害者)の様子を“おかしい”と感じ、警察に通報するなど行動をおこした大人…。



大人の正義感、行動力に、少年の問題行動や非行の解決の糸口を見い出すことも多くあります。

ポイント

- ◆ 無関心をやめ、毅然とした態度で臨もう
- ◆ 命の大切さを考えよう
- ◆ 公正な心や正しい倫理観に基づき判断力をもとう
- ◆ 善悪のけじめを自覚しよう

「個人」

～よい大人として～

多様化する社会で自由に生きること可能な現代。しかし、自由に翻弄され、自分自身を見失うということはありませんか。そんな大人の姿は、青少年にどのように映っているのでしょうか。まず自己をしっかりみつめてみましょう。



礼節 ～「私の勝手」はみんなの迷惑～

◆ 社会のルール・マナーを守ろう

例えば、あなたの携帯電話…。病院内では電源がOFFになっていますか？電車の中だったら、デッキに移動して話していますか？もちろん、車の運転中は使っていませんよね。

■ 病院内では…



■ 電車内では…



「大人は子どもの鏡」
大人が社会のルール・マナーを普通に守っている姿をみせたいですね。



ポイント

- ◆ 社会のルール・マナーを守ろう
- ◆ 敬愛する心、いたわる心、感謝する心、畏怖する心を大切にしよう
- ◆ あいさつをしよう。相手に不快感を持たせない対応、正しい言葉遣いに心がけよう
- ◆ 自信と自覚をもって正しい行動ができる強い意志をもとう

忍耐 ～欲望だけでは心の満足は得られない～

◆ 安易に楽ばかり求めず、我慢することも身につけよう

二人の子どもが一つのりんごをとりあった時、大人は「半分ずつにしようね。」と提案します。少しの我慢が、たくさんの「一緒に食べるとおいしいね。」の心の満足に。一人占めより不思議とおなががいっぱいになることを、大人は知っているんですね。



我慢と欲望…
バランスをもたせることで、より大きな心の満足が得られます。



ポイント

- ◆ 安易に楽ばかり求めず、我慢することも身につけよう
- ◆ 継続は力なり…努力してこそ得ることのできる達成感を味わおう
- ◆ 相手の立場を考え、一歩引いてみることもやってみよう
- ◆ 悩みや不安をひとり抱え込まず、心を開こう、相談しよう

「家庭」

～よい親として～

努力する自分を伝え、よい影響を家庭に広めるのも容易ではありません。幸い福井県は三世同居も多く、核家族であっても親切的な近所があります。人生の先輩の協力も得て、子ども達を育てましょう。



愛 ～なにものにも替えがたく～

◆ 一緒にいても、離れていても、親子・家族の絆を大切にしよう



私が嬉しかったのは、
反抗期のとき見守ってくれたこと。
「かかわって欲しくない、
でも突き放されたくはない…」
自分でもよく分からないこの気持ち
を両親は理解してくれていたと
思う。ありがとう!!

子どもの成長に応じて、
親子のちょうどよい関係の距離を探りましょう。

ポイント

- ◆ 一緒にいても、離れていても、親子・家族の絆を大切にしよう
- ◆ 人生の喜びや苦勞、生活の知恵を親から子へ伝えよう
- ◆ 祖先を敬い、人生の先輩であるお年寄りをいたわろう
- ◆ 年中行事などをとおして家族の絆を深めよう

コミュニケーション ～あいさつや情報活用～

◆ 忙しくても手紙など工夫して子どもの話を聴くようにしよう



さっさとお風呂に入って!

明日の学校の準備してあるの?!

またゲームやってるの! ほんとに勉強は? 勉強は?



「うちの子はちっとも話をしてくれないんです…」ってウソでしょ。
あれじゃ一方的に機関銃を撃っているのと同じ。ボクは弾が当たらないように身をかわすのに必死です。話をするとこころじゃない…。



「どうしてこうなったの!」より、「これからどうする?」

ポイント

- ◆ 忙しくても手紙など工夫して子どもの話を聴くようにしよう
- ◆ 「おはよう!」で毎日のコミュニケーションをスタート
- ◆ 家族でインターネットや携帯電話の使い方、テレビや新聞から得た社会問題等について話し合おう
- ◆ 文化や芸術に親しみながら、家族共通の話題をみつけよう

「家庭」

～よい親として～

努力する自分を伝え、よい影響を家庭に広めるのも容易ではありません。幸い福井県は三世同居も多く、核家族であっても親切的な近所があります。人生の先輩の協力も得て、子ども達を育てましょう。



社会規範 ～家庭は社会の第一歩～

- ◆ 子どものしつけは家庭最大の義務、年齢に応じて、社会のルールやマナーを場面ごとに教えていこう

- 銭湯ではかけ湯をしてつかる
— 教えないとわかりません
- ひじについて食事をする
— 家族の誰かがやっていませんか？
ルール・マナー違反をしかる前に、ちゃんと教えていたかな、自分はどうかなとふり返ってみましょう。案外…。



🌱 口で言って、行動で示す。



ポイント

- ◆ 子どものしつけは家庭最大の義務、年齢に応じて、社会のルールやマナーを場面ごとに教えていこう
- ◆ 人生の先輩からのアドバイスにも耳を傾けよう
- ◆ 親も子も、日常会話や生活態度に節度をもとう
- ◆ 家族みんなて「わが家のルール」を決め、実践しよう

親の決意と信条 ～メッセージ～

- ◆ ほめる時、励ます時、しかる時、親の威厳と優しさできちんと接しよう

「北風と太陽」という寓話があります。あなたのほめ方、励まし方、しかり方は北風？それとも太陽？お話では、旅人のコートを脱がすことができたのは太陽でしたね。

「あなたは宝物」親の気持ちを素直に伝え、ほめることから始めましょう。



🌱 人生の先輩・後輩としての親子関係、時には友だちのような親子関係、上手に使い分けたいですね。



ポイント

- ◆ ほめる時、励ます時、しかる時、親の威厳と優しさできちんと接しよう
- ◆ 責任ある親の生き方、考え方を子どもに示そう
- ◆ 子どもに、家族と社会のために働いている親の姿を見せよう
- ◆ 子どもの交友関係を把握し、日常生活の変化に注意しよう

「地域・社会」

～よい社会人として～

共働きの多い福井県において、地域の連帯は、何かにつけ心強いものです。親には助け合いの心を育て、子どもには社会性を身につける場といえます。子どもを宝として育む社会をつくりましょう。



信頼 ～大切な地域の人間関係～

◆ 地域への関心を深めよう



わが家では、回覧板を隣の家に届ける時、親子で、または、子どもだけで届けるようにしています。きちんとあいさつをし、ちょっとした会話をして帰ってきます。子どもは、一人前に扱われているように感じるのが、嬉しそうです。

地域には、赤ちゃんからお年寄りまでいろんな人がいます。みんな地域を構成する大事な一員です。



ポイント

- ◆ 地域への関心を深めよう
- ◆ 家庭・学校・地域は子ども達に関する情報の共有に努めよう
- ◆ 子ども達のサークルやグループづくりに知恵や手をかそう
- ◆ 大人と子どもの共同作業で様々な人間関係を経験しよう

地域づくり ～子どもの居場所づくり～

◆ 地域の子子ども達に声をかけ、名前呼び合える関係をめざそう



登下校の時間に合わせて家の前で植木の手入れをして、さりげなく「〇〇さん、おかえり」を言ってくれるおじさんがいます。

「△△さんちのおじちゃん」と知っているから、子ども達も安心して「ただいま！」が言えます。

子ども達が安心してすごせる地域には、子どもをさりげなく見守る大人がいます。



ポイント

- ◆ 地域の子子ども達に声をかけ、名前呼び合える関係をめざそう
- ◆ 地域の安全を守り、近所同士気軽に話ができる雰囲気づくりにつとめよう
- ◆ 子ども達に地域行事への企画参加などを促し、地域での役割を担わせよう
- ◆ みんなが誇れる地域の宝を見つけ、アピールしていこう

「地域・社会」

～よい社会人として～

共働きの多い福井県において、地域の連帯は、何かにつけ心強いものです。親には助け合いの心を育て、子どもには社会性を身につける場といえます。子どもを宝として育む社会をつくりましょう。



自然・文化 ^{うま} ～美し国、越前・若狭～

◆ 福井の優れた産業・技術・文化を誇りに思うと共に、先人の偉業をたたえよう

先人の知恵や努力の跡は地域のいたる所にあります。地域の大人が、子ども達にその偉業を語り伝えることで、「よし！自分も」と奮起してくれると、頼もしいですね。

「えっ！こんなところに福井の技術!!」といった産業、技術についてもどんどん教え、子ども達に関心を持ってもらいたいものです。



🌱 地域への誇りは、まず知ることからはじまります。



ポイント

- ◆ 福井の優れた産業・技術・文化を誇りに思うと共に、先人の偉業をたたえよう
- ◆ 郷土の豊かな自然に感謝しながら、大いなる自然から学ぼう
- ◆ ふるさと福井を愛し、子ども達に美しい福井を残そう
- ◆ 地域環境を考え、ものを大切に作る心を地域生活から考えていこう

社会貢献 ～人のために、自分のために～

◆ 人のため、社会のために役立つことに喜びを見い出そう

町内の行事に、子どもの参加も促そう。「君らが汗をながしてくれたおかげだよ。ありがとう。」と最後に一言加えることを忘れずに！



🌱 「誰かの役に立つことが、こんなに気持ちいいことだったのか」そんな体験をさせたいですね。



ポイント

- ◆ 人のため、社会のために役立つことに喜びを見い出そう
- ◆ 子ども達と一緒にボランティア活動に参加しよう
- ◆ 今の課題に関心を持ち、地域でできることから始めよう
- ◆ 身近な助け合いから地域への連帯感、協調心を育もう



※「啓発録」原本の一部。「少年、君たちはどう生きるか」から転写

「啓発録」は、橋本左内先生が15歳の時に、自分自身の生き方の心構えを書き表したもので、「雑心を去る」をはじめ、五項目からなる、和綴じ19丁(38頁)に及ぶものです。

私たちは、郷土が生んだ左内先生の精神を誇りをもって学ぶと共に、これらの心構えを現在の私たちの生活に役立てていきたいものです。

啓発録を現代に活かし

- 「雑心を去る」…自我の確立と自律を促し、
- 「気を振う」…勇気や努力する心を養い、
- 「志を立てる」…人生に目標を持って日々前進することを、
- 「学に勉める」…常に自戒し目的の達成に向けて
- 「交友を選ぶ」…励まし、戒めあい、希望に満ちた人生をあゆみたいものです。



はしもとさぜん
橋本左内先生 略歴

1834年(天保5年)福井城下常盤町(現福井市春山)に生まれ、1848年(嘉永元年)には、15歳で啓発録をあらわす。その後蘭学をはじめヨーロッパの学問を修め、さらに儒教や日本の学問についても懸命に勉強し、世界の中の日本のあり方を常に考え、福井・江戸で活躍するも、1859年(安政6年)安政の大獄で吉田松陰らとともに刑死(26歳)。

「大人のための啓発録」～元気なふくいをめざして～

平成16年3月発刊 編集：「大人のための啓発録」作成委員会 発行：青少年育成福井県民会議
親世代、大人に向けた青少年育成指針 作成に当たってはより多くの方々の英知に頼りました。

橋本左内の「啓発録」に学び、「良い大人として、親として、社会人として」お互い自分自身を見つめ直し、自分を律していこうではないかとの思いからその題名を「大人のための啓発録～元気なふくいをめざして～」としました。